HITACHI

第22回 日立財団科学技術セミナー

参加費 無料

病気にならないようにする薬
治療から「絶対予防」の時代へ

基礎の基礎は 応用につながる

―分子レベルで解明する、予防医療をめざした未来の「創薬」―

日時 2026年 11月28日(土) 13:30~15:10

開催方法 会場 ＋ zoomウェビナー配信のハイブリッド

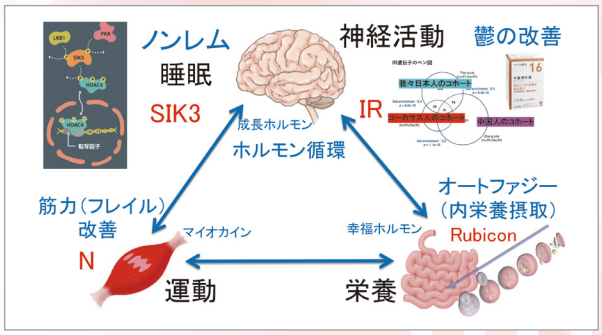
会場 WATERRAS COMMON HALL (御茶ノ水)
千代田区神田淡路町2丁目101番地 ワテラスコモン3F
・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅徒歩約2分
・JR「御茶ノ水」駅徒歩約3分
・東京メトロ丸ノ内線「淡路町」駅徒歩約2分

対象 高校生以上一般市民の方

講師紹介

濡木　理　東京大学大学院理学系研究科　教授
（ぬれき　おさむ）

1993年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。東京工業大学教授などを経て、2010年より現職。専門は生体内の分子の形を解明する「構造生物学」。最先端の「クライオ電子顕微鏡」などを用いて生命現象の根幹を分子レベルで可視化してきた。2014年、ゲノム編集の基盤となる「CRISPR-Cas9」の立体構造を世界で初めて解明し、革新的な創薬への道を拓いた。現在はゲノム医療による予防医療の最新研究や、バイオベンチャーの立ち上げにも取り組む。世界をリードする研究者として国内外で高い評価を受けており、2014年武田医学賞、2018年紫綬褒章、2021年慶應医学賞など受賞多数。博士（理学）。



自然科学研究者は、人間を遥かに超越した自然が対象であり、したがってその生業の目的は（人類のためではなく）自然科学の仕組みを探究すること（基礎研究）になると思います。しかし、近年特にその傾向が顕著ですが、人間を超越した自然に挑戦するからこそ、人間が構築してきた社会の問題を大きくブレークスルーするような技術発展が生まれ、結果として莫大な人間が恩恵を被ることになります。私は基礎の基礎こそ応用につながると考えており、これをモットーに老化や睡眠を標的にして予防医薬を目指したアカデミア創薬基礎研究を進めています。

申込方法

本セミナーは会場と配信のハイブリッド開催です。二次元コード（URL）から参加方法をご確認のうえお申込みください。
お申込みの際「濡木先生に聞いてみたいこと」として、事前の質問を募集していますので、ご協力をお願いいたします。

https://www.hitachi-zaidan.org/activities/seminar/topics/2610001.html

主催：公益財団法人 日立財団
〒100-8220 東京都千代田区丸の内1-6-1
www.hitachi-zaidan.org　E-mail: hitachizaidan@hdq.hitachi.co.jp